

## 委員から出された意見

## 第1回PI外環沿線会議

会議の運営について	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非公開の意見交換会を開く必要があるれば、この場で問題が生じると懸念されていることは何なのか、どうい う場合を考えているのかを明らかにして、対応策が考えられないか検討してからにすべき。 (江崎委員)</li> <li>・準備会で結論を出したわけで、決まったことは決まったようにしてほしい。 (渡辺委員)</li> </ul> <p>会則及び運営細則は、1月18日から施行することとなった。</p>

議論の進め方について	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三環状が整備された場合の全体および各路線の交通量を出してもらいたい。三環状が整備された状態の首都 圏の交通の状態、環境負荷はどういうふうになるのかを知りたい。</li> <li>・環境に与える影響の中には振動も入っていたはずであり、それを確認しておきたい。</li> <li>・地上部街路の扱いは、話が煮詰まってきた時に、それ以降にやるという話だったはずであり、今後の課題と された事項からは削除してもらいたい。 (新委員)</li> <li>・地上部街路は、時系列的な問題は確かにあるが、今後の課題の1つであることは事実である。</li> <li>・その他の課題として、現ルートの妥当性だけをピックアップしたのはどういう意味か。</li> <li>・現ルートの妥当性を取り上げるのであれば、その他のIC、JCTも同列に扱うべき。 (菱山委員)</li> <li>・都としては、地上部街路に関して様々な場で議論をする必要があると考えているが、沿線会議の総意として 課題にふさわしくない、削除すべきということであれば、それは一向に差し支えない。 (道家委員)</li> <li>・必要性の議論をするときに、どうしても地上部が問題になるのであれば、地上部の部分をしっかりと考えて 必要性の議論を明確にすべきである。</li> <li>・ルートだけでなく、いろいろ問題があるのであれば、JCT、IC等に関しても議論すべき。 (濱本委員)</li> <li>・外環を地上につくる場合は街路も必要かもしれないが、地下である場合は必要ない。 (宿澤委員)</li> <li>・方向性あるいは原則的にこういう立場で取り組んでいくということがたくさん残っているのに、全然整理さ れず回答漏れになっているが、それは明確にするのか。</li> <li>・三環状に絞って交通にどういふ変化があるのか。それが地域レベルで地域交通量がどう変化するのかという ことを明らかにしてもらわなければ困る。</li> <li>・外環をつくるなら良いものを、あるいは弊害のないようなものができるかできないか検討してみようという ことであり、国と都はどうしようとしているのか。 (武田委員)</li> <li>・温室効果ガスの一番目玉になっているCO<sub>2</sub>も考慮すべき。</li> <li>・地球規模的に環境が非常に重要な問題になっており、環境対策が21世紀の重要課題である。</li> <li>・やらない場合という選択肢を明確に設けてほしい。やらない場合、やる場合を比較検討することで、より問 題がはっきりするのではないか。 (栗林委員)</li> <li>・今までの協議会で出せなかった資料を、この会議で、可能な限り出していききたい。</li> <li>・将来交通量は可能な限り示した上で議論し、それ以外の資料も順次出していききたい。</li> <li>・将来交通量を予測するときには、将来、外環がなかったらどうなるか、あるいは外環ができたらどうなるか という予測もできるので、それも含めて次回には提出するように頑張りたい。</li> <li>・環境に与える影響の中には振動も入っている。影響がどうなるかということも話していききたい。</li> <li>・全体の必要性の議論をしている中で、具体的な構造等、この場でどこまで出すのかということについて議論 してほしい。</li> <li>・具体的な構造の話は、この全体の会議でするよりは、例えば地域ごとに意見を聞くような場を出していった らいいのではないか。 (山本委員)</li> <li>・費用対効果の検証のために、外環の建設費、維持管理費などの費用がどの程度かかるのか。それはだれが負 担するのかを早急に明らかにしてほしい。</li> <li>・外環をどのような前提条件で予測すべきなのかを市民が加わって検討する必要がある。</li> <li>・環境調査に関して見落としはないか、住民が感じていることとずれはないかのチェックが必要。</li> <li>・外環をもどのような代替案と比較すべきかを検討すべき。 (江崎委員)</li> <li>・コストとの比較に関してもしっかりデータを出していききたい。</li> <li>・環境の現地調査に関しては、地域の方々の関心も非常に高いと思うので、地域のPIを設ける機会がある ときには、しっかりとその場で説明していききたい。</li> <li>・道路整備をしない場合も含めて検討すべきという指摘があったが、外環がある場合、ない場合といったよう なことも含めて将来交通量等を出していききたい。 (山本委員)</li> <li>・住民が求めているのは、影響に対してどの程度の効果のあるものを担保するのか、しないのが重要であり、</li> </ul>

	明らかにしなければならない。	(武田委員)
	・7区市の方々が集まっている全体の会議で議論をすべきか。あるいは地域ごとに意見を聞く会やオープンハウスで、地域の方々に直接話しをする方がいいのか、どちらがいいかということである。	(山本委員)
	・個別の話ではなく、トータリティーをもった話はここでの会議で話し合われていい。	(武田委員)
	・沿線会議で、大まかな合意というか、心の中で仕方がないというような状態まで話をもっていかないと、地域にもっていったって恐らく話にならない。	(新委員)
	・ステップを踏んで議論を進めることを提案する。	
	・建設費の財源はどうするのか。	(栗林委員)
	・外環が必要かどうかを構想段階からやろうというのがこの会議の趣旨である。	
	・一度何をここで議論するのかということを委員全員で確認してほしい。	
	・構想段階の必要性を議論するため将来交通量がどういう問題があるのか、やる場合とやらない場合の問題点の比較をする等、そういう資料をきちんと出せば構想段階からの必要性の議論を先にできる。	(濱本委員)
	・ステップを踏んで、データをもとに議論をしてもらいたい。	(川瀧委員)
	・地上部街路は今後の課題から消してほしい。	(新委員)
	・オープンハウスや地域の懇談会で、地上部分について一切話をしないでほしい。	(濱本委員)
	・地上部街路に関して、他の場での議論を封じるということは考えてない。	(道家委員)
	・構想段階から議論をすると承知しているなら外してほしいと言っている。地域ではその議論がどんどん先に行ってしまうのではないか。	(濱本委員)
	・地上部街路に関して触れると、地元で混乱するだけであり、今は外環に論点を絞ってほしい。	(武田委員)
	・必要性の議論をする上では、確かに切り離して整理した方がいいが、現都市計画がある中で、外環を地下にした場合には、その都市計画が残ってしまうので、地域の方々から意見をいただきたい。	(邊見委員)
	・前任の部長が公開の場で言ったことを、後任の方が否定するのか。	(渡辺委員)
	・地上部街路に関しては棚上げにしようということが結論であったことは十分に承知しているが、さまざまな機会をとらえて議論することは、今の段階でも必要だと考えている。	(道家委員)
	・住民を代表して、来ているわけであり、地上部街路はぜひ除いてもらいたい。	(宿澤委員)
	・外環の必要性の結論が出ていない訳であり、結論が出るまで棚上げにしてほしい。	
	・構想段階からの必要性を議論するということが皆さんが納得して棚上げしたことである。	(渡辺委員)
	・住民は、大深度になれば側道がなくなってくるという考え方になっている。	
	・冷静に大深度で外環のことを考えていくために棚上げしたはずである。	(新委員)
	・最低限度、協議会の2年間のとりまとめに書いてある約束事は、守っていただきたい。	(栗林委員)
	・沿線住民をペテンにかけることはやるなという趣旨の発言を聞き、外環の地上部街路のあり方を見定めていかなければならないという問題意識をさらに強く持った。	
	・ぜひいろいろな機会に議論はさせていただきたいし、それを縛らないでいただきたい。	
	・協議会で議論を棚上げにしたことは十分承知しており、問題意識ももっているが、議論を求める声もあるので、いろいろな場できちんとした説明をし、議論はしていきたい。	(道家委員)
	・地上部街路を東京都が積極的にテーマに出さないでほしい。	(渡辺委員)
	・協議会で議論を棚上げするということは当然守るが、他の議論を拘束するということがあってはならないし、わかりやすい情報を提供して、ほかの方々の議論もしていただきたいという考えである。	(道家委員)
	・地域懇談会のときに地上部街路に関して、積極的に持ち出されるのではないか。	(渡辺委員)
	・地域の議論の場で質問があると思うので、説明はしていきたい。	(邊見委員)
	・地上部のあり方は住民が選択できるとみんな思っている。	(新委員)
	・地上部街路は、住民を含めて、さまざまな場所でいろんな議論がされて、どうなっていくのかということに興味もたれている問題であり、当然何らかの場所で議論はしていかなければいけない。	
	・都が都市計画上の問題について一定の考え方を示して、住民の間で、あるいはいろんな場所で考え方を示すことは、この協議会とは別個の問題としてやるのであれば構わない。	(塩沢委員)
	・もう地下へ潜るから関係ないという気持ちになっているところに地上部街路の話を出されると大混乱する。地域地域の事情をよく判断していただきたい。	(樋上委員)
	・地上部街路に関して様々な議論があるので、こういう状況にあるという資料をつくって提示していきたい。	(道家委員)

### 環境の現地観測結果について

意見	・外環沿線に活断層の位置と方向を入れてほしい。	(新委員)
見	・右側に地盤卓越振動数観測結果があるが、次回でいいので説明してほしい。	(武田委員)